

新潟県

公民館月報 4

平成9年4月号 通巻第530号



特集 公民館全国セミナー参加報告記

祝 庶 受益者負担に思う

ひろば 中国と夕暮を旅して

実践記事 壁面制作による生涯学習のまちづくり

サークル交流・村上市リクリエーション協会

社交ダンス部 (村上市)

くびき太極拳サークル (頸城村)

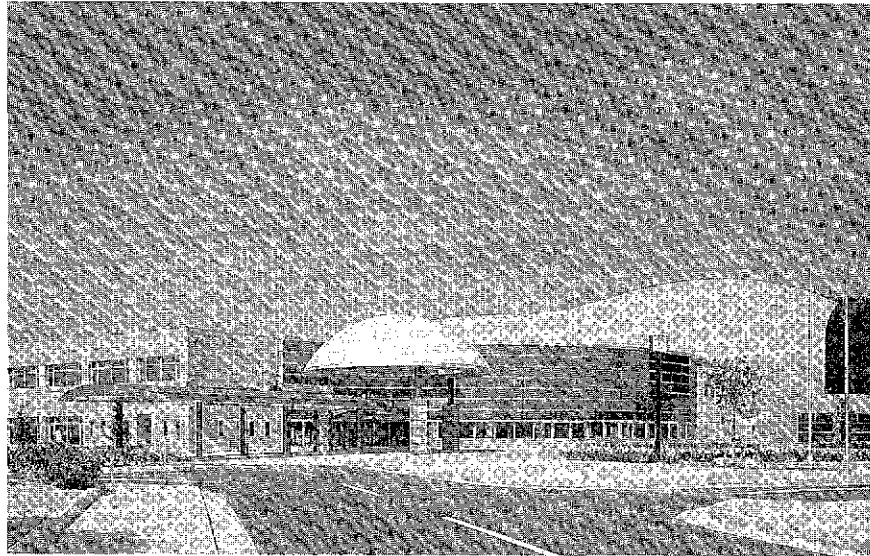
茶談俳見 丸山郁夫氏 (長岡市中央)

星 真次氏 (湯之谷村)

表紙 アスパーク亀田
(亀田町公民館)

県公民館大会開催要項案でできる

学社融合をテーマに — 学校教育関係者の参加大歓迎 —



来る 7 月

25 日(金)開催

予定の第 48

回新潟県公

民館大会の

開催要項案

ができた。

(一部既報)

写真に見るように、新築一年

を経過したばかりの豪華な「村

上市民ふれあいセンター」を会

場に開催される。

現地実行委員会では、会場が

県北の地であることから、開会

時間を 10 時とし、例年より 30 分

も遅くして、参加者の参集しや

すいように配慮している。
なお、大会主題は昨年に続いて「生涯学習をめざした公民館の役割」を考へることとし、特に「学社融合による魅力ある公民館活動を求める」こととしている。

今回のテーマはまことに時宜を得た今日の課題であることから、公民館・社会教育関係者はもとより、とくに学校教育関係者からも多数参加されるように切に望んでいる。

第 48 回新潟県公民館大会開催要項 (案) 生涯学習社会をめざした公民館の役割を考へる ～学社融合による魅力ある公民館活動を求めて～

- 趣 旨 生涯学習の時代といわれて 10 年余り、21 世紀を目前に控え、社会はめまぐるしく変動を続けている。このような混沌とした社会の中にあって、心の豊かさを求める生涯学習社会の構築に向けて、公民館の果たす役割は大きい。

今、戦後黨土の中から生まれた公民館の原点に還って、家庭、学校地域が連携する学社融合を図り、教育力の向上を図る必要がある。本大会において、生涯学習の中核施設となる魅力ある公民館活動のありかたを模索する。

- 主 催 新潟県公民館連合会
- 共 催 新潟県教育委員会 新潟県公民館振興市町村長連盟
村上市・村上市教育委員会
- 主 管 村上市・岩船郡公民館連協協議会
- 後 援 略
- 日 時 平成 9 年 7 月 25 日(金)
- 会 場 村上市民ふれあいセンター
- 参加者 市町村長、同議会議長、同議会議員、同教育委員、同社会教育委員、公民館運営審議会委員、同公民館長、主事、職員、社会教育主事、社会教育指導員、社会教育関係団体役員、学校教育関係者、一般住民

- 日 程
9:30 10:00 10:30 12:00 13:00 14:30 15:00

受 付	開 会 式	研究討議 シンポジウ ム	昼食 ブレスト セッション	記 念 講 演	閉 会 式	解 散
-----	-------	--------------------	---------------------	---------	-------	-----

- シンポジウム 主題「生涯学習社会をめざした公民館を考へる」
- 記念講演 「演題未定」大洋酒造 KK 取締役社長 平田 大 六 桜
- 参加費 2000 円(資料代)
- 参加申込 別に定める申込書により、市町村ごとに取りまとめの上、6 月 27 日(金)までに下記大会事務局まで申し込んでください。
- 大会事務局 〒958 村上市三之町 2 番 33 号 村上市中央公民館内
第 48 回新潟県公民館大会実行委員会事務局

新任公民館職員におすすめするハンドブック

公 民 館 経 営 の 手 引 公 民 館 運 営 審 議 会 委 員 の 手 引

社会教育学級等における

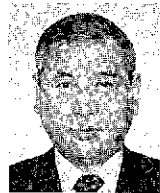
学 習 計 画 立 案 の 手 順 と 方 法

横浜国立大学教授 吉川 弘著

B5 版 62 ページ
500 円(送料実費)

B5 版 62 ページ
500 円(送料実費)

B5 版 44 ページ
500 円(送料実費)



よろしくお願いします

事務局長 鈴木友夫

事務局近くのやすらぎ堤の桜花も、信濃川の川面を渡る風も、春到来を告げております。各公民館におかれましては、年度初め、それぞれ順調なスタートを切られたことと存じます。

さてこの度、上村捨二郎前事務局長の後任として、大役を引き受けすることとなりました。

はじめ、公民館を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、今年度県公連の基本方針も「リストラへの対応が課題である」とも聞いております。それでは、県公連の事務等に不慣れた私ではありますが、どうか前事務局長同様、温かなご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

視点

なぜか本 ぜなのであろうか。 県の公民館 その答えとして、昨 界では、地 今大手を振って罷りと 域づくりにおっている「受益者負担」の論理に結びつけ かなかわる学 習や活動への取組みが 消極的のよう に見える。地域に 根ざした公民館活動 というのが昔も今も変わらぬ公民館のあり方 だと思っっているのにな

受益者負担に思う

上村 捨二郎

札にすれば、事業予算の削減という大鉈を振るわれても難なくクリアーできるものらしい。いきおい、その魅力にとりつかれて、定期講座オンリーとかカルチャーセンターまが

いであんををはかる。 地域の人々が、生活の課題や地域の課題に 取り組もうとしても、それは住民自身の自主 活動の領域だからと、 支援の手を伸ばそうと しない。 そうしている間に、 コミュニティづくり協 議会なる団体が幅を利 かせはじめている。コ ミ協なる団体は本来 公民館との融合団体だ と思っっていたのに「公

(当連合会 前事務局長)



中国とタイを旅して

高野 辰二

今は海外 旅行ブーム であり、海 外への観光 光地へ行っ ても日本人 が非常に多い。私も昨年六月中国へ往復一週間の日程で北京西安上海を廻って来た。膨大な土地と名所旧跡のスケールの大きさに圧倒された。その中で強く私の心を打った事を一点だけ記してみたい。物凄く広い天安門広場、物凄く大きな毛沢東の写真、そこに又物凄く高い国旗掲揚塔があり、大きな国旗が夕風にたなびいていた。四名の兵士と指揮者が一人直立不動の姿勢で立っていた。良く聞いてみると中国では、朝の日の出に国旗を掲揚し夕方日没時に降納する。その儀式を嵐の日も猛暑の日も一日も休まず国旗を守り、国民は高く仰ぎ見ると言う儀式が行われていると聞いて驚かざるを得なかった。それに比べ日本はどうだろうか。日の丸は国旗でない、君が代は国歌でないと言っって式場にさえ日の丸を掲げるなど言っって大騒ぎを

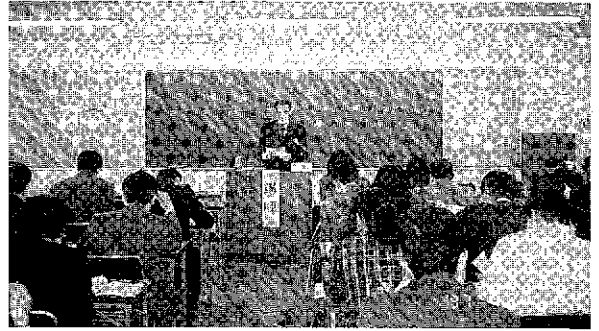
ひろば

する馬鹿げさ。国に国旗があるに国に国歌があるのは当たり前。国旗を大切にすることは国土を愛する事である。私は中国人民の心情に大きく敬服した。 二月にタイのバンコックからアユタヤ方面へ五日間の旅をして来た。テレビや写真で見ただけで生活を目のあたりにしてこれ又びっくり仰天。生活用水はスコールと川の水。洗濯や体も洗う汚物処理も一本の川の流れに沿って一掃である。その川の魚を食用にしている。貧富の差の大きいにもびっくりした。 バンコックでは生活環境浄化のためすがらや空桁のポイ捨は絶対禁物である。もしポイ捨が見つかると一万円相当の罰金だと注意を受けた。あれだけ混雑している市場も公園も大変きれいであった。それに比べ日本の空桁ポイ捨は眼に余るものがある。日常生活の常識をバンコックに学ぶべきだと感じた。思想も生活様式も違う国柄であっても生活の原点で尊い教訓を得て来た。

(大島村公民館運営審議会委員)

十一参加報告記

たり、東京オリンピック記念
県から参加した職員研修が行
た、その報告記である。



一、はじめに
十年ぶりに公民館に勤務する
ことになった、その第一年目に
「公民館全国セミナー」に参加
させていただく機会を得まして
多くのことを修得できたことを
感謝しております。

私自身はいま「ボランティア
育成」ということを研究課題と
して関心を持っていますので、
関連する事例発表を聞くことが
できて大変よるこんでいます。

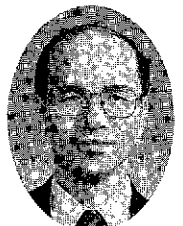
また、流通経済大学の高村久
夫先生から「公民館職員のモ
ラル」と題する講義
により、職員論につい
ての示唆を受けたこと
が印象として残ってい
ますので、まず、その
ことを最初に報告しま
す。

二、講義要旨

公民館職員のモラル

公民館は「人」から知識、情
報、刺激などを得る場であると
いうところに特色がある。その
「人」というのは、「仲間」によっ
てということもあり、知識人・
産業人であることもある。いず
れにせよ、そうした人々から
の情報を住民に媒介するのが公
民館の役割である。したがって、
住民に媒介しようとする情報の
質や量は公民館職員個人の知的

包容力の大きさによって決まる
もの。だから、職員たるもの知
的包容力を大きなものにするよ
う心がけることが大切である。
いま、好奇心旺盛な高齢者た
ちが活発に活動している。新し
いことに挑戦している人たちは
いつまでも若々しく、これから
の「エイジレス時代」の担い手
である。公民館職員に求められ
るのもそうした知的好奇心では
ないかと思う。



職員のモラルと 公民館ボランティアと

見附市中央公民館係長 土田 秀明

求心を持ち、興味を引くもの、
気になるものを見つけ、面白そ
うだと思ったら、それを自分な
りのやり方で知的な探索をして
みることである。「自分の関心の
あることを追求すると面白くな
る」というのが学習の原理であ
り、それが職員のモラル（志
気・やる気）につながるのでは
ないかとお話でした。
講師のお話は職員の実践論と
してであったと思いますが、私
は学習内容の理解という視点で
聞かせていただきました。

三、事例研究

ボランティアについて

セミナーの中の「事例研究」
で、千葉県のある公民館から、
「ボランティアの養成と活用」
についての報告がありました。

その公民館で現在活用してい
るボランティアには、日本語と
保育のボランティアがあり、ほ
かにも地域活動ボランティアの
養成が試みられているとのこと
です。さらに、公民館の各講座
にはそれぞれ「企画委員」がボ

私の勤務する公民館でも現在
ボランティア育成に関する取組
みを手探りではじめています。
公民館として、このようなボラ
ンティアをどう養成するかはま
だよく見えていないのが正直な
ところですが、いづれにせよ、
学習内容の編成（企画）をボラ
ンティアの人たちと一緒になっ
て考えるようにしたいと思っ
ています。

四、おわりに

市民の学習ニーズを捉えなが
らも、公民館が必要課
題として事業化しよう
とするものと、住民全
体の学習内容の編成と
の間にギャップが生じ
やすくなるものです
が、ボランティア企画
委員を活用することにより、そ
のギャップを埋める仲立ちとな
る利点も得られましょう。いず
れにしろ、公民館の学習支援の
本当の意味を見失わないように
しながら、学習者とボランティ
ア企画委員と職員との三者一体
の学習内容の編成ができるよう
な、共通の興味をひく学習課題
が得られるよう、(それが高村講
師のいう職員のモラルである
うと思ひ)地域の人々と一緒に
なって考えていきたいと思いま
す。



公民館全国セミナー

さる1月21日～23日にわ
青少年センターで各都道府
われ、本県から2名が参し

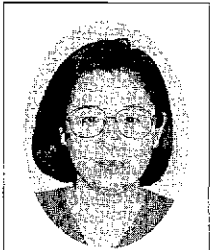
一、はじめに
公民館へ囑託として勤務して
わずか三年半の私に、全国セミ
ナーへの参加の機会をいただき、
全国の熱心な職員の皆様と
共に公民館職員の在り方を学ば
せていただいたことを、大変感
謝しています。

日頃「今」をどう読み「これ
から」に公民館機能をどう生か
していくかという点を話し合い
ながらプログラム作りを進めて
いますが、その「これから」に
ついて立教大学坂口順治教授の
示唆にとんだお話を中心に報告させていただきます。

二、時代価値、生活者の
意識変化
人は、青少年時代の
時代価値の影響を最も
受けている。社会心理学の立場
で、時代価値をみると大きく変
化していることがわかる。

七十年代までは、経済中心、
欧米に追いつく時代(欠乏充足
欲求)。よく働くこと、節約、貯
蓄がキーワードになっている。
地域社会は、共通の目的を持っ
ているために、手を取り合い、
社会の温もりを感じることで
きた(自然平等主義)。

それが、大阪万博を過ぎたこ
ろより、経済がある程度思まれ
たため、自分自身を表現したい



新潟市坂井輪地区公民館 小田 雅子

公民館の活性化と 地域社会からの人材活用

と思うようになる(利己表出欲
求)。地域社会(血縁・地縁・社
縁)はあるが必要な時だけ必要
なだけというコンピニ型にな
り、利己拡大の手段になった。
キーワードは感覚利欲消費。他
者と共に分かちあつて行くこと
がなくなつてきた。

このような時代に育つた若者
は、時間と空間の認識に変化が
あり、物理的距離を意識しなく
なるだろう。また偽物と本物の
区別がつかなくなり差異が分か
らなくなる。コミュニケーション

三、時代感覚の転換
今後は、道徳を基盤にした規
範を押し付けたり、上から下へ
伝えるだけでなく、新しい、
より豊かによりやさしくという
人生哲学を持つて欲しい。

三、仕掛け人的リーダーシップ
職員は、関わっていいこうとす
る力、伝える力聞く力、企画運
営する力をつけなくてはならな
い。目標を立て、実行し、反省
することを三カ月ぐらいの単位
で行いその基礎的な力を養う。
応用能力として、カウンセセ
ラーの能力、何を求め何をね

四、時代変化の中の公民館機能
これからの公民館に求められ
ることは、人材活用である。
共に学び、互いの人格に触れ
あつていくことである。

五、リーダーのすることとは、
その仕事で完成したとき、人々
がみんなそれをやったと感じ
られることである。

以上私の記録をまと
めたものです。未消化
の部分が多々あること
をご容赦ください。

六、おわりに
坂井輪地区公民館で
は、従来の講座の他に、地域の
皆様にお集まりいただき、話し
合いの中から共通の問題点を見
つけだし、その解決のための方
法を具体的に皆さんと共に考え
て行こうという講座を、大学の
先生や行政の他機関のアドバイザー
を受けながら進めています。
そこから地域の仲間という意識
が生まれています。今は手探り
の状態ですが、全国セミナーで
の学びにより、今後の地域作り
の方向を示していただきまし
た。

そこに必要なルールはその
人達によって作られる。だから
みんなが守る(協調共生機能・
参加創造型)というように、共
感した事を少しずつ大きくする
ということをして行かな
なくてはならない。

経済を越えた人間的価値を持
つ時代価値を生み出して行く必
要がある。

リーダーとは、人々の中に入
り、人々と共に住み、人々を愛
し、人々から学び、人々が知っ
ていることから始める人であ
る。

実践記録シリーズ (15)

壁画制作による生涯学習の町づくり

寺泊町公民館

はじめに

寺泊町は、海に面した小さな観光の町であり、新潟県の海岸線のはば中央に位置しています。近年は、新鮮な魚介類を求める人でにぎわいを見せておりますが、観光客の残すゴミ等に悩まされている一面があります。

プロック壁に、幅七、十m高さ五、八mの大きな絵をペンキで描くと言うものです。

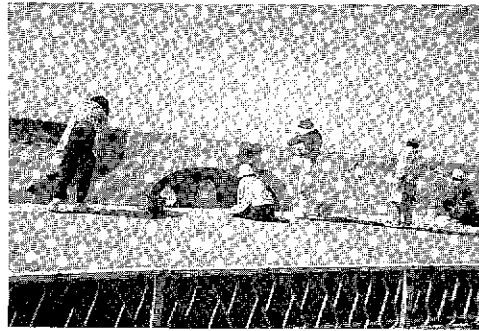
平成二年からスタートした、生涯学習の体制づくりでは、生涯学習の拠点となる文化センターの施設建設、町民憲章を指標とした「寺泊キャンパス構想」の中で各種公民館の講座の開設など生涯学習の町づくりを目指しています。この中で公民館活動とはひと味違った形として進めてきたのが、生涯学習推進室が取り組む地域住民の手による「壁画制作」であります。

これまで

この事業は、生涯学習のモデル地区として指定した四区の小学校への新設通学道路の法面の

海の寺泊町には、海上にせり出した水族博物館があり観光の名所の一つとなっています。四年間続けて来た四区のモデル地区でしたが、今年水族館のある一区を指定し、駐車場の護岸壁に壁画を描く事にしました。長さ八〇m、高さ一・五mの壮大な絵となりました。

原画は寺泊町出身の漫画家



「渡辺功」さんにお願ひし、海の町にふさわしく魚や、人魚、ラッコなどのかわいらしい絵と なっています。

ペンキをコンクリートの壁に塗って絵を描くには、まずコンクリートにペンキが染み込んで行かないように浸透防止剤を塗ります。これが乾いてから、大まかな下絵をチョークなどで先

生に描いてもらい、その後でいろいろな色のマジックでつけた色の部分の下絵を描くことになりました。これらの浸透剤塗り作業、下絵作業の段階から地区役員など地域住民の方々の参加がありました。

さて、準備も整い、いよいよペンキ塗りの作業がはじまります。九月二三日、朝からの雨。無念の延期となりました。

予備日とした翌週の九月二九日は町PTA連の研修会の開催される日で、はたしてどのくらいの人が集まってくれるのか心配でしたが、たくさんのペンキ缶の前に勢揃いしたのが約六〇名。お父さんお母さんそして子供たち、家族そろっての参加が見られました。

大きな下絵を見て「本当に自分たちで出来るんだろうか」と、不安があったそうです。早速それぞれ箇所に分かれてペンキ塗り作業が始まりました。これまでの経験から、和やかな会話をしながらの作業と思いきや、みなさん黙々とペンキを塗っています。

場所は水族博物館の駐車場で。多くの観光客の目にとまるところ、通りかかりのお兄さんが「オレも描きてえな」「どうぞどうぞ一緒に描きましょ」「服にペンキを付けるな」、子供を叱っ

ていた声も次第に絵にこだわりの持つてきて、子供の服のことなどを忘れて童心にかえって作業を続けていました。

人魚やラッコが次々と色づいてゆきます。用意したペンキが無くなり、急ぎで追加購入にあわただしく走る場面もありましたが、夕方には完成。「水族館に新しい仲間が増えた」、そんな声が聞かれました。終了後、早速地区の会館で慰労会となりました。

おわりに

自分たちの手で描き上げた壁画は、見る度に嬉しくなるものです。近くを通ると寄って眺めてはゴミの始末をする人が何人かいるようになったようです。

地域の課題を探り、その解決のための学習をしよう。町づくりの事業に参加しよう。アンケート等をおしてこれからは、「参加」から「参画」の時代、行政の用意したメニューに参加するにとどまらず、自らが地域課題を設定し学習活動を実践する、そんな町づくりの試金石としてひとまずの成果を見たものとし、この「壁画制作」の試みは今年で最後の活動となりました。

(寺泊町公民館長 土田明記)

サークル交流

素敵な指導者もいる SHALL WE ダンス?

村上市レクリエーション協会社交ダンス部
毎週木曜日午後七時半から九時半迄、主に公民館を使って社交ダンスの練習をしております。部員は四十代から六十代迄サラーイマンから農業、商工業者、美容師或いはスナックのママさんといろんな人達約二〇名です。月一回は「Shall We ダンス」の草刈氏代さんのように素敵なプロの先生が指導に来てくれてみんなのヤル気をおこさせています。ダンスが上手になりたくて来ている人、男

性だけの職場で女性との交流がほしいと思っている人など、部員それぞれの目的でサークルに参加しているのが良いのではないかと思います。
そんな訳でダンスの練習もさる事ながら、暑気払いの飲み会や忘年会或は新年会などアフターダンスになると普段顔を見せない人も出て来て賑やかにあります。去る三月二日(日)には、当協会主催の新春ダンスパーティーが約一〇名もの参加者を得て盛大に行なわれました。日頃の練習の成果を發揮し大いに楽しみました。

(村上市レク協会ダンス部 斎藤 純一 記)

太極拳で健康づくり

くびき太極拳サークル

「ラーララーララーララー」
毎週月曜日午前十時になると、頸城海洋センターの二階のトレーニングルームに、珍しい中国音楽が流れます。そして三十代から七十代の若いお母さんやおじさま・おばさま達が、そろりそろりと足を運んだり腕を曲げたり伸ばしたりしていま



す。ちよつと見ると不思議な光景ですが、これが私達「くびき太極拳サークル」の活動なのです。このサークルは、平成五年九月に産声をあげました。発足の母体は、その年の五月から開かれた社会体育事業の「太極拳教室」です。太極拳に魅せられて、すぐにサークルが成立。習い始めてからまもなく四年が経とうとしています。

太極拳は「氣」を全身にめぐらし、血液の循環や新陳代謝がスムーズになり、体にとっても良いです。これからも太極拳を続けて、心と体の健康づくりと仲間づくりを進めていきたいと思っています。

(くびき太極拳サークル 福田 由美 記)

長岡市中央公民館

主査 丸山郁夫 氏

執務中の喧騒とうって変わった静かな昼食時、それぞれの休憩様の中、常に変わらぬスタイルの主が丸山郁夫さんです。寸暇を惜しんでの読書姿勢は、映像文化主流の動的な世界に思案的な空気を送り込む爽やかな快い風となっています。学習活動のプログラミングに



新鮮なアイデア、卓抜した組み立てがあるのはこの読

素顔拝見

湯之谷村教育委員会

主事 星 真人 氏

星さんは、教育委員会に所属して、四年目が過ぎようとしています。その間に、公民館活動に専念し、今では、エキスパートとして、なくてはならない存在になっています。彼の担当は、広報紙の編集発行、社会体育全般となっております。雪が消えるのと、毎月一回行う村内ウォークの立案には熱心で、江戸時代の銀山開発で残された遺跡をさりげなく配し、村民の名案内役です。村民運動会、ソフトボール大会、雪上運動会と三大行事



にはアイデアいっぱい計画を立て村民に喜ばれていきます。休日には、趣味の写真をとりに各地を駆けまわり広報の紙面を飾り、腕前は抜群です。ハンサムボーイの彼も、仕事に熱中するあまり、今だに独身なのが、周囲の心配の種です(花嫁募集中)。良い伴侶を得て、ますますの活躍を期待しているこの頃です。

(湯之谷村公民館長 影山 登 記)

書生活があるからと言えます。市職員として二十三年の豊かなキャリア、公民館活動に係わって一年半、いよいよエンジンフル回転、絶好調です。信条「人に優しく」を生かした学習領域の開拓、活動展開への緻密な心配り等に静かな情熱を傾けています。
相愛の伴侶・祐子夫人と今春高卒の長男・中学生の次男の爽やかで暖かいご家族が、激務を癒し、明日への活力の源となっていることは確かです。
(長岡市中央公民館 関 四郎 記)

恵贈資料紹介

公民館史研究会・会報第14号

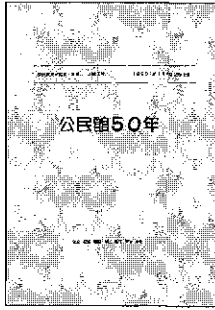
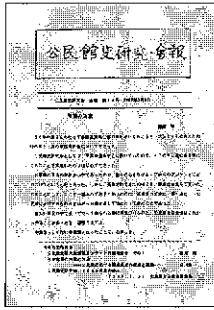
B 5 判 20 頁の特集は、
で、この号の特集は、
同会実施によるアン
ケート結果の中間(一
部)報告である。47 都
道府県公連会長あての
アンケートの回答は 28
通。

調査項目の一つに、現在の公
民館に対する施策や運営につ
いて、「危惧している」が 19 県で「危
惧していない」9 県を大幅に上
回っていた。

同誌増刊号「公民館 50 年」

公民館史研究会発行

B 5 判 56 頁の手作り会報で、



「公民館 50 年記念特集号」で
ある。新旧公民館関係者 26 名の寄
稿によって、公民館の今昔が語
られ、明日へのあり方について
熱い思いが記されている。

特に、同会代表の横山宏氏の
文の終わりに「…確かに今日の
公民館を巡る状況は決して明る
くはない。しかし、かつての日、
魯迅が「暗黒だからこそ、行路
がないからこそ行くのである」
と言いつつ「絶望の虚妄なること、

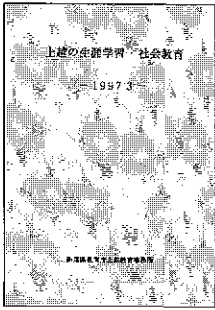
資料紹介

上越の生涯学習・社会教育

上越教育事務所発行

上越教育事務所から「上越の
生涯学習・社会教育」(一九九七
年版)が贈られてきた。A 4 判
120 頁の冊子である。

前段では、上越教育事務所の
目から見た、管内市町村の生涯
学習推進体制の現状と改善の視



希望の虚妄なると同じ」と教え
励ました言葉を噛みしめ、敢え
てこのよきな時にこそ、その暗
黒からの活路を見いださねばと
思うことしきりである。」と結ん
でいるのが力強かった。

この会報は会員のみに配布さ
れるもので希望配布はしていな
い。関心のあるむきは、左記に
問い合わせられたい。

〒949-186
十日町市大字中条甲八二八
田村達夫 宛
☎〇二五七(五七)〇三一五番

主体のイベント、「歴史よなべ談
義塾」「音楽による村づくり」な
どなど。ユニークな活動に生き
生きと取り組んでいる姿など、
それぞれの市町村の特色ある活
動事例が掲載されている。

作品公募

第六回全国水墨画美術展

主催 全国水墨画会

会期 平成 9 年 6 月 17 日～22 日
会場 新潟県民会館ギャラリー
搬入 平成 9 年 6 月 13 日(金)
9 時～17 時まで受付

出品手続その他詳細は左記へ
問い合わせのこと
新潟市坂井東四丁目 21-24
全国水墨画会事務局宛
電話 〇二五二二六〇一〇一九六

表紙解説

アスパーク亀田

亀田バイパス・新津、バイ
パスの接点に建設されたア
スパーク亀田(亀田町総合
体育館)は、健康づくりの
拠点として、室内温水プー
ル・メイン・サブアリーナ、
ランニングコース・トレー
ニングルーム等をそろえた
施設です。
(亀田町公民館提供)

あとがき

。読む立場からつくる立場へ
私にとっての月報は、社教現
場勤務時も、学校現場での公連
審委員としても、執筆者が知人
であるとか、余程興味関心のある
記事以外は、さあーと流し読
む程度でした。

さて今回からは立場が逆転し
つくる立場になってみて、初め
てその大変さが分かりました。
。月報づくりへのご協力を
今月号は、幸い前任の上村事
務局長が割り付け、原稿依頼、
原稿校正、発注、と段取りして
いただいたので、初校校正段階
から取り組みました。

五月号から本格的に入ります
が、何せ不慣れですので、自由
投稿等でも、ご協力のほど何分
よろしく願います。
(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会

〒 951

【新潟市川端町 2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価 1 部 150 円 共・年 1,800 円】